

住民協働の元気な 町づくりを進めます！



これまでの取り組み

揖斐川町も合併をいたしまして6年目を迎えました。

合併以後、まちづくり計画の重点プロジェクトであります地域情報・道路・公共交通の3つのネットワークの整備と教育、文化、福祉の向上に積極的に取り組み、現在その成果が着実に現れてきました。

平成21年度からは、「少子化対策・定住化の促進」を重点施策とし「道路整備の促進」、「安全で安心なまちづくりと自然環境の保全」、「教育文化のまちづくり」、「公共交通と情報ネットワークの充実」、「産業の振興と観光ルートの確立」の5つを重点施策としてまちづくりに取り組み、特に新築住宅建設等奨励金制度については、住民の皆さんのニーズに確に対応した施策として、初年度からその成果が、着実に現れています。

平成22年度の町政運営

国の政策方針の見直しや転換などにより、社会情勢は大きく変化しておりますが、町といたしましては、これまでの政策方針を継承しつつ、住民の皆さんに必要とされる施策を進める事のできる、真の地方分権社会を目指し、変革期であるこの時期

を乗り越えるために、「見直すべきものは見直す」、「重点的に実施するものは、積極的に進める。」といった、メリハリのある施策の実施を行い、住民の皆さんが住んでよかったと実感できる町政運営に取り組みまいります。

当初予算編成の考え方

国におきましては、事業仕分けによる既存制度の見直しなどが進められる中、子ども手当の創設など暮らし重視の「コンクリートから人へ」の予算配分の転換が図られています。

しかし財政面においては、依然として景気の低迷により国税収入が落ち込む中、社会保障関係経費の増や公債費が高い水準で推移することなどにより、財源不足が大幅に拡大し、国債発行額も、過去最高となるなど、非常に厳しい状況です。

また、県においても平成25年度当初予算までに、構造的な財源不足の解消を進めることを公表しており、大変厳しい財政状況となっております。

一方、地方分権の推進を図るために、地方自治法の一部改正が検討される中、これらに対応するための、行政経営能力の強化や、行政改革の推進が強く求められています。

このように、国・県の財政状況が一層厳しくなる一方、町の新たな行

住民協働の元気な町づくりを進めます！

政需要は益々増加しています。

揖斐川町においても、国や県同様に景気の低迷により法人町民税が減少する中、地方交付税の増額などにより、一般財源総額こそ概ね同額となっておりませんが、歳入全体といたしましては、依然として厳しい状況となっています。

揖斐川町としましては、健全財政の維持を堅持しつつ、「類似施設の見直し」などにより経常経費の抑制を図る一方で、町債発行や基金の取り崩しを可能な限り抑制しながら、「揖斐川町第一次総合計画」に基づく、「任んでみたい、任んでよかった」と住民の皆さんに言っていた「住民協働の元気な町づくり」を目指し、少子化対策と定住化の促進など、優先課題に対するメリハリのある予算としました。

最重点施策

「少子化対策・定住化の促進」

少子化対策として、中学卒業までの医療費を無料とする支給事業などを継続するほか、妊婦健康診査の助成回数そのままに健診内容の拡充を行うほか、新たにヒブワクチン接種事業を行うほか、乳幼児相談や幼児園・保育園の施設整備を行い、子育てに関するトータル的な支援を図り、子どもを安心して生み育てる事ができる環境の整備を進めます。

また、定住化促進のために、新たに怪永町宮住宅の建設に取り組みほか、新築住宅にかかる建設等奨励金制度と固定資産税の減免措置を継続し、住宅を建てやすい環境づくりを積極的に進めます。

重点施策

「道路整備の促進」

合併まちづくり計画の重点事項である3つのネットワーク整備のうち、道路ネットワーク整備にかかるもので、町の活性化の基盤となる、年間を通じて安心して、快適に走行できる道路整備を進めます。

「安全で安心なまちづくり」と

自然環境の保全

橋梁の耐震化の推進や消防機動力の向上など、災害に強いインフラ整備のための「地域防災体制の確立」、揖斐川尚和園の改築や地域医療設備の充実など、住民の皆さんの生活に密接した身近な環境整備を行う「安全で安心できる生活基盤の確立」、住民の皆さんが健康で、元気に暮らすために各種健診事業などを行う「健康づくりの推進」、自然と共生する循環型社会の構築を目指し、生ごみ処理機などの購入助成の拡大などを行う「自然環境の保全」という4つの方針を積極的に進めます。

「教育文化のまちづくり」

児童生徒が安心して教育が受けられる環境の充実として、大和小学校北舎と揖斐川中学校の耐震化の推進を行います。

また、国の教育実施要領の見直しを受け、小学校からの外国語指導の実施や海外派遣事業などを行うほか、基礎的学習能力の向上や、地域の特色を生かした魅力ある教育を実施します。

地域再生の手がかりとなる多様な地域文化の育成保存や、地域住民の自主的活動を支援する特色ある地域づくり補助金などを積極的に進めることにより、協働のまちづくりの基盤づくりを行います。

「人と地域を結ぶ公共交通・

地域情報ネットワークの充実

合併まちづくり計画の重点事項である3つのネットワーク整備のうち、公共交通・地域情報ネットワーク整備にかかるもので、住民の皆さんが利用しやすい公共交通の継続と、住民の皆さんに必要なとされる情報内容の充実を進めます。

「産業の振興と観光ルートの確立」

合併まちづくり計画の重点戦略である、観光交流・健康産業による地域づくりにかかるもので、下流域の住民との交流促進を図る揖斐川水源

地域ビジョン推進事業や耕作放棄地を活用した特産品開発、地域産業の担い手への支援など、産業の振興と観光ルートの確立を進めます。

これらの重点事業のほか、住民の皆さんに必要なとされる福祉や医師の確保、まちづくりに必要な各種産業の振興施策などを22年度において予算化しました。

今後、地方分権による自己決定・自己責任が、さらに進められ、経常経費の削減が必須である厳しい財政状況にあっても、町政の停滞は許されません。

現下の厳しい状況を虚心坦懐にとらえ、住民の皆さんから「任んでみたい・任んで良かった。」と言って頂けるよう、職員がプロとしての意識を持ち、住民の皆さんの声をお聴きし、お互いに知恵を出し合う「住民協働の元気なまちづくり」を進め、今まで以上の行政改革や経費の削減に努め、最小の経費で最大の効果が上げられるよう、精一杯取り組んでまいります。

住民の皆さん方には、一層のご理解・ご支援・ご指導を賜りますことを、お願い申し上げます。

【 少子化対策と定住化の促進 】 8億6,948万3千円

子どもを安心して産み育てることができる環境の整備と、定住化を促進するための住宅施策を積極的に推進します。

(1) 少子化対策の促進 5億7,645万1千円

区分	事業名	概要
継続	不妊治療助成事業	不妊治療費の助成(1人10万円助成)
拡充	妊婦健康診査事業	妊婦健診を14回助成(回数は昨年度と同数であるが、助成健診内容を拡充。超音波健診を1回から4回に増など)
継続	すこやかベビー祝い金事業	出産時1人につき5万円の助成
継続	乳幼児健診事業	1歳6か月健診・3歳児健診・乳児健診・乳児聴覚検査助成・巡回歯科保健事業
継続	母子教室事業	母子教室事業
新規	ヒブワクチン接種事業	ヒブワクチン(髄膜炎)接種事業
継続	幼稚園就園奨励・奨学激励事業	幼稚園就園奨励費(奨励対象者4歳、5歳) 奨学金奨励1人につき5万円
継続	児童手当支給費	児童手当の支給実施(3歳未満時に1万円など支給・H22.2~3月分)
新規	子ども手当支給費	子ども手当の支給
拡充	子育て環境改善事業	子育て支援センターの改修・各幼稚園、保育園の施設等改修・おじま幼稚園改築工事
継続	児童生徒医療支給事業	中学生卒業まで医療費の無料化を実施

(2) 定住化対策の促進 2億9,303万2千円

区分	事業名	概要
拡充	定住促進事業	定住促進奨励金(町内に新築住宅建設者または購入者に最大30万円の助成)
新規	公営住宅建設事業	胥永町営住宅建築工事および用地購入、設計委託料など
拡充	新築住宅等にかかる減免措置の実施	住宅取得にかかる固定資産税の減免(0予算ベース事業)
継続	産直住宅日本一推進事業	県産材を使用し、「いびがわの家」に認定された家屋に、床下調湿炭を提供
新規	移住・定住の促進	県と連携して、県外からの移住定住を促進する。(0予算ベース事業)

【 道路整備の促進 】 4億8,162万4千円

年間を通じて安全に走行できる道路環境の整備を進めます。

(1) 道路ネットワーク整備 4億8,162万4千円

区分	事業名	概要
継続	町道整備	道路新設改良費
		道整備交付金事業費
		地域活力基盤創造交付金事業費
		道路維持補修工事費
		交通安全施設修繕事業費
	農道整備	町土地改良事業費(農道)
		県単土地改良事業
		農道保全対策事業
		中山間総合整備事業
	林道整備	町単林道整備事業
		公共林道整備事業
		県単林道整備事業
		林道維持管理事業
	国道・地方特定道路など	県単土木事業負担経費

【 安全で安心なまちづくりと自然環境保全 】 28億7,223万5千円

耐震化の推進や消防機動力の向上など、災害に強い地域づくりのための「地域防災体制の確立」、地域防犯の推進など生活に密着した環境整備を行う「安全で安心できる生活基盤の確立」、住民の皆さんの健康づくりのために各種検診などを行う「健康づくりの推進」、自然と共生する循環型社会の構築を目指す「自然環境の保全」という4つの方針を積極的に推進します。

(1) 地域防災体制の確立 16億9,780万6千円

区分	事業名	概要
継続	防災対策事業	災害対策用非常食の購入、備蓄用毛布クリーニング代など
継続	消防活動備品購入事業	消防訓練服などの購入および消火用ホース(106本)の購入
継続	消防施設整備事業	ホース乾燥塔を2基設置など
継続	各種防災訓練等実施事業	町防災訓練・水防訓練などの実施
継続	防災センター兼庁舎建設事業	防災センター兼庁舎建設工事
継続	建築物等耐震化促進事業	木造住宅耐震診断や耐震補強に対する助成
新規	橋梁耐震化事業	橋梁落下防止などの耐震化(川口橋・新籠橋)
継続	治山対策・県単急傾斜地崩壊対策事業	治山対策事業・県単急傾斜地崩壊対策経費

(2)安全で安心できる生活基盤の確立 5億4,582万4千円

区分	事業名	概要
継続	防犯事業	地区管理防犯灯への電気料等補助の実施・町管理防犯灯の管理経費・各種防犯対策経費
拡充	緊急通報装置設置事業	緊急通報用電話機(50台)の購入
継続	学校安全サポーター事業	地域防犯パトロールの実施
新規	老人福祉施設整備事業	春日、坂内デイサービスセンター機器整備・老人保健施設施設整備(ナースコールシステム整備)・揖斐川尚和園改築工事
新規	診療所施設整備事業	久瀬診療所機器整備(内視鏡・大腸ファイバー)

(3)健康づくりの推進 9,217万1千円

区分	事業名	概要
拡充	健診等予防事業	健診事業(ヤング健診や各種がん検診などの実施) 予防接種事業(インフルエンザなど各種予防接種の実施) 女性特有のがん検診推進事業 伝染病予防事業(啓発事業の実施) 健康増進事業(健診啓発などの実施) 食生活改善事業(栄養改善事業などの実施)
継続	町民健康づくり事業	地域支援介護予防事業 水泳教室開催事業・フリーマラソン開催事業・町スポレク祭開催事業 スポーツ・健康教室事業 生涯スポーツ教室開催事業
継続	高齢者生きがい事業	老人クラブ活動助成、長寿者褒賞事業費、外国人高齢者福祉金 福祉バス運行事業、敬老会開催事業

(4)自然環境の保全 5億3,643万4千円

区分	事業名	概要
拡充	循環型社会づくり事業	乾燥汚泥運搬車両購入 集団回収事業等補助金・生ごみ処理機、堆肥化装置補助金 公害対策経費
新規		森林整備加速化・林業再生基金事業(木質資源利用ボイラー施設整備など)
継続	自然環境保全事業	農地・水・農村環境保全向上活動支援経費や生態系保全技術検討調査実施経費 森林保全のための森林整備地域活動支援交付金・獣害防除事業補助金など 水環境保全のための合併浄化槽設置補助金や下水道事業全体計画の策定など

【教育文化のまちづくり】7億3,783万6千円

将来を担う子どもたちの教育環境の充実や地域再生の手がかりとなる地域文化の育成保存、住民の皆さんの自主的な活動の促進など、協働のまちづくりの基盤を整えます。

(1)教育文化施設の充実 5億1,455万円

区分	事業名	概要
拡充	安全・安心な学校づくり交付金事業	大和小学校北舎改築工事 揖斐川中改築工事、北和屋内運動場実施設計・谷汲中耐震補強実施設計
継続	学校施設整備事業	小学校施設修繕事業・中学校施設修繕事業
継続	図書館施設整備事業	図書館施設整備

(2)特色ある学校づくりの推進 8,151万1千円

区分	事業名	概要
継続	外国人語学講師招致事業	外国人語学講師5人による指導の実施
継続	小中学生海外・県外派遣事業	中学生のセントジョージ派遣・小学生県外派遣(北海道芽室町)
継続	学校教育指導員設置事業	指導員2人による学校教育活動の指導助言の実施
継続	学校提案型教育研究推進事業	各学校の特色ある自主的な取組みに対する支援を実施
継続	少人数指導員設置事業	多人数のクラスに複数の教員を配置する
継続	図書館コーディネーター設置事業	学校図書館の環境整備、児童生徒の読書活動の助言
継続	野外活動等事業	小学校野外活動事業経費・小学校芸術鑑賞事業経費・小学生スキー研修事業経費 中学生野外学習事業経費・中学生スキー研修事業経費
継続	スクール相談員設置事業	相談員による中学生のメンタルヘルスの実施
継続	道徳教育推進事業	学校道徳教育の指導・助言
継続	総合学習推進事業	地域講師による学習の実施
継続	学童保育事業	小学校4年生までを対象とした学童保育の実施
新規	基礎学力定着支援事業	基礎学力定着支援事業
継続	小学校特別支援教育就学奨励費	小学校特別支援教育就学奨励費
継続	立志式開催事業	中学3年生を対象とした立志式の実施

(3)文化のまちづくりの推進 1億4,177万5千円

区分	事業名	概要
継続	国際交流事業	国際交流事業(セントジョージへの派遣および受入)
拡充	国体関連事業	国民体育大会開催準備経費 カヌー会場整備設計および工事・健康広場および市場グラウンドの整備
新規	全国豊かな海づくり大会開催事業	第30回全国豊かな海づくり大会におけるサテライト会場としての事業実施
新規	全日本実業団男子ソフトボール選手権大会開催事業	全日本実業団男子ソフトボール選手権大会開催事業
継続	揖斐川町スポーツ交流フェスティバル	ソフトボール選抜いび川大会開催補助金(フェスティバル)
新規		女子ソフト1部リーグ開催補助金
継続	いびがわマラソン負担金	いびがわマラソン負担金
継続	文化団体等育成事業	町内各種文化団体などへの助成および講座などの開催事業費
継続	特色ある地域づくり事業	各地域の特色ある取組みへの支援
継続	青少年育成町民会議運営費	町の青少年育成推進経費
継続	文化財保護事業	横蔵寺本堂屋根修繕および各地区無形文化財など伝統芸能保存育成助成の実施

【人と地域を結ぶ公共交通・地域情報ネットワークの充実】 3億4,938万2千円

住民の皆さんが利用しやすい公共交通の継続と、住民の皆さんに必要とされる情報を積極的に発信します。

(1)公共交通ネットワークの充実 2億3,297万2千円

区分	事業名	概要
継続	養老鉄道対策事業	養老鉄道の運営費助成の実施
拡充	養老鉄道揖斐駅周辺施設管理事業	養老鉄道揖斐駅周辺整備工事
拡充	旧名鉄本揖斐駅跡地整備事業	旧名鉄本揖斐駅周辺整備工事
継続	コミュニティバス運行事業	揖斐川町コミュニティバス(地帯制ワンコインバス)の運行
拡充	樽見鉄道対策事業	樽見鉄道の運営費助成・レールバス購入助成

(2)地域情報ネットワークの充実 1億1,641万円

区分	事業名	概要
継続	揖斐川町地域情報事業	IT講習会の実施 地域情報特別会計操出金

【産業の振興と観光ルートの確立】 1億9,488万2千円

「合併まちづくり計画」の重点戦略である観光交流・健康産業による地域づくりを推進します。

(1)観光交流健康産業による地域経済活性化 1億9,488万2千円

区分	事業名	概要
継続	揖斐川水源地域ビジョン推進事業	徳山ダム周辺の施設や自然を利用した下流域の住民との交流促進
拡充	揖斐高原花の里づくり事業	揖斐高原の斜面を利用した花の植栽事業および事業用車輛購入
継続	観光宣伝事業	揖斐川町便利マップの作成や観光プレゼンの実施
新規	畜産振興事業	ダチョウ牧場新設
継続	観光ガイドサポーター設置事業	観光ガイドサポーター設置経費
継続	谷汲らくらく参道バス運行事業	谷汲らくらく参道バス運行経費
継続	まちづくり交付金事業	谷汲門前まちづくり事業の実施
継続	中小企業・勤労者支援事業	中小企業・勤労者支援経費の実施
継続	揖斐川町観光連盟補助事業	特産市開催経費、徳山ダム号経費などの助成
継続	商工会支援事業	商工会運営支援およびイベント事業への補助
継続	特産品振興事業	特産品振興経費(実バラ苗など購入助成ほか)
新規	特産品販売促進事業	地域特産販売促進支援
新規	耕作放棄地解消・新規特産品開発支援事業	耕作放棄地を利用した特産品開発支援
継続	朝市開催事業	朝市広告経費
継続	担い手育成総合支援事業	経営改善指導員経費
継続	ぎふクリーン農業生産流通総合整備事業	県単集団営農機械導入補助

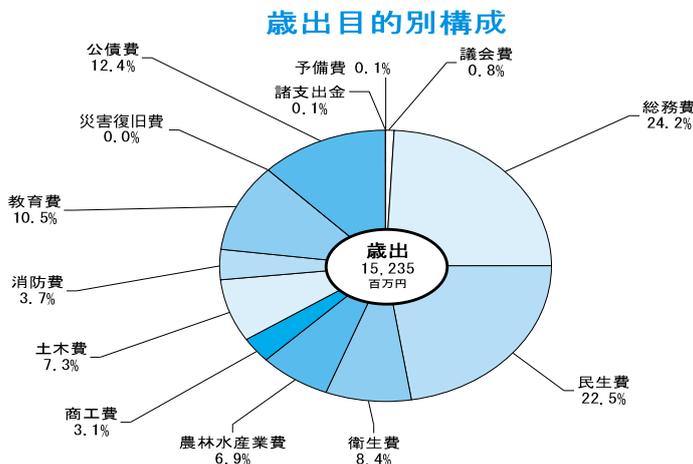
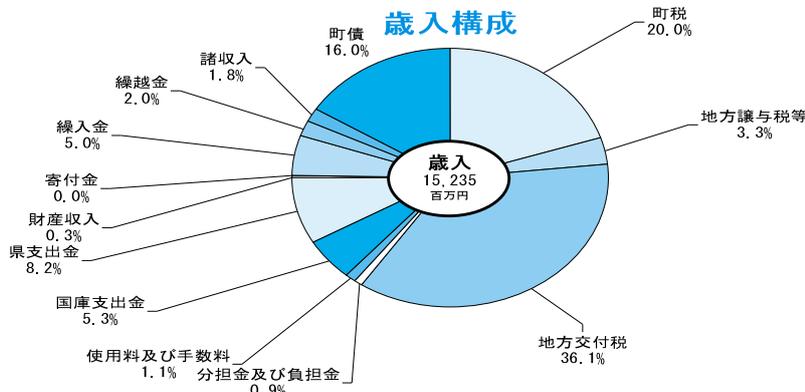


平成22年度 揖斐川町各会計当初予算

(単位：千円)

会計名	22年度当初①	21年度当初②	①-②	前年比当初 (%)
一般会計	15,235,000	14,798,000	437,000	3.0
国民健康保険特別会計	2,637,000	2,408,400	228,600	9.5
国民健康保険直診勘定特別会計	141,000	143,200	△ 2,200	△ 1.5
老人保健医療特別会計	1,000	4,300	△ 3,300	△ 76.7
後期高齢者医療特別会計	319,800	279,700	40,100	14.3
谷汲中央診療所特別会計	70,900	82,900	△ 12,000	△ 14.5
大和簡易水道特別会計	24,000	25,500	△ 1,000	△ 4.0
胫永簡易水道特別会計	17,600	19,400	△ 1,800	△ 9.3
市場簡易水道特別会計	12,400	9,000	3,400	37.8
谷汲簡易水道特別会計	89,000	101,700	△ 12,700	△ 12.5
北部簡易水道特別会計	158,700	151,100	7,600	5.0
北方財産区特別会計	15,000	14,000	1,000	7.1
大和財産区特別会計	8,800	8,300	500	6.0
谷汲財産区特別会計	10,300	11,500	△ 1,200	△ 10.4
長瀬財産区特別会計	1,400	1,600	△ 200	△ 12.5
横蔵財産区特別会計	4,600	1,800	2,800	155.6
農業集落排水事業特別会計	813,000	1,605,000	△ 792,000	△ 49.3
公共下水道事業特別会計	73,900	463,400	△ 389,500	△ 84.1
杉原地域土地取得等特別会計	19,900	18,200	1,700	9.3
個別排水事業特別会計	163,400	166,500	△ 3,100	△ 1.9
徳山ダム上流域公有地化特別会計	521,500	525,400	△ 3,900	△ 0.7
地域情報特別会計	229,000	207,400	21,600	10.4
特別会計合計	5,332,200	6,247,800	△ 915,600	△ 14.7
総合計	20,567,200	21,045,800	△ 478,600	△ 2.3

平成22年度 揖斐川町一般会計当初予算 【予算総額15,235百万円】



【歳入】 (単位：千円)

区分	22年度当初
町税	3,052,172
地方譲与税等	501,210
地方交付税	5,497,000
分担金及び負担金	135,972
使用料及び手数料	170,237
国庫支出金	801,445
県支出金	1,251,262
財産収入	42,350
寄付金	235
繰入金	769,182
繰越金	300,000
諸収入	273,735
町債	2,440,200
合計	15,235,000

【目的別歳出】 (単位：千円)

区分	22年度当初
議会費	115,218
総務費	3,680,940
民生費	3,423,683
衛生費	1,282,216
農林水産業費	1,056,231
商工費	471,196
土木費	1,113,920
消防費	567,744
教育費	1,595,894
災害復旧費	50
公債費	1,895,698
諸支出金	12,210
予備費	20,000
合計	15,235,000

※表・グラフ中の割合については、小数第2位で四捨五入していますので、合計が合わない場合があります。